
オーバーナイト血液透析 (INHD) 患者の実生活変化に関するアンケート調査

医療法人衆和会 長崎腎病院

○岩永璃子 堀 幸一郎 林田征俊 矢野利幸 高木伴幸 澤瀬健次 船越 哲

【目的】

今回、当院 INHD 患者における満足度と生活への影響を明らかにするため、患者アンケート調査と血液データの比較を行った。

【対象】当院 INHD 実施患者 11 名、男女比=9:2、平均年齢 51.4 ± 9.0 歳、平均透析歴 11.7 ± 10.2 年である。透析スケジュールは、夜 10 時に開始し朝 6 時に終了する 8 時間透析で統一している。

【方法】

INHD 導入前と 3 ヶ月後のライフスタイルや身体症状の変化等に関する全 43 項目のアンケートに加えて、血液データの比較を行った。

【結果】

血液データより、 kT/V は 1.65 から 2.44 へ、有意差に上昇した。GNRI に変化はなかった。アンケート調査からは、仕事に費やせる時間が増えた (71.4%)、日中の倦怠感が減り自分のライフスタイルにあっている (71.4%)、などの回答が得られた。この他、食事量は変わらないが制限のストレスがなくなった、などの意見が聞かれた。

【考察】

INHD の特徴である長時間透析に変更した事で kT/V が向上した結果、日中の倦怠感が減った可能性がある。今後も INHD が QOL 向上や就労支援の一つとして提案する価値があると考えられる。